

# こうとう民報

2017年 1月号 146

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話 3648-5155 FAX 3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-mi-npo.jp/



写真は、吉田衆院予定候補、あぜ上都議、7人の区議団、畠中区政対策委員が勢ぞろい



あけましておめでとござい  
います。

国政にも大変重要な都議選  
の年が明けました。

安倍政権の悪法強行に、  
不安の声が渦巻く

あいさつ回りで、昨年12月

安倍政権が繰り返した強行採  
決、押し通された年金切り下

## 新年の抱負



吉田としお 衆議院東京15区予定候補

今年の都議会議員選挙は、都民の暮らしとともに、国政の動向を左右  
します。安倍政権のもと、昨年の臨時国会で自民・公明党、維新の会に  
よって国民の多数が反対しているTPP協定・関連法、年金カット法、  
カジノ解禁法の3つの悪法の強行採決が連続して行われました。  
20日に開会された国会では、日本国憲法第19条が「侵してはならない」  
とする国民の思想・信条を処罰の対象とする共謀罪法案を提出し、憲法  
改悪にも踏み込もうとしています。  
野党と市民の共同と日本共産党の躍進でこの企てを阻止し、国民が安  
心して暮らせる政治を実現しましょう。私も頑張ります。

## 暮らしし中心の都政改革へ

あぜ上三和子 都議会議員



私たち都議団は、市場問題や五輪経費問題などで17人に躍進した力で  
都政をリードしてきました。また、「保育の量と質を拡充する提言」を小  
池知事に提出、保育士の待遇改善のための対策など繰り返し議会で論戦  
してきました。  
こうしたなかで、保育士の賃金引き上げのための予算が組まれるなど  
保育充実への前進を切り開いています。  
今年も、暮らしし中心の都政改革を本格的にすすめて、憲法破壊の自民党  
政治に痛打を与える年に！ 頑張ります。

### 共産党の前進で 都政改革を

マスコミは都議選の焦点が  
「小池新党対自民党」である

### 都民・住民の暮らしの声が生きる政治実現の年に

かのような報道をまき散らし、  
日本共産党の名前が見えない  
ほど小さい扱いをする番組さ  
えあります。

小池都知事が始めた都政改  
革の方向は、日本共産党都議  
団が取り組んできた大型開発  
優先の都政から保育や教育、

7人の日本共産党区議団は、  
その先頭に立って全力で頑張  
る決意です。

しかし、改めて問われている  
る東京ガス豊洲工場跡地への  
市場移転問題やオリピック・  
パラリンピック開催準備でも、  
日本共産党都議団が石原都知

介護など都民の立場に立つも  
のですが、都議選ではこの改  
革の流れを前に進める力を持  
つ政党、候補者は誰かが問わ  
れます。

事の時代から多くの  
みなさんと共同して  
見直しを求め続けて  
きたものです。

最強寒波の襲来で日本  
海側は大雪ですが、東  
京では大寒の前から梅  
の花が綻びかけていま  
した。20日は、大荒れ  
のトランプ大統領就任式。08  
年12月、オバマ氏が大統領選  
に圧勝した当時、この「潮騒」  
に「戦争や貧困をビジネスと  
する軍産複合体支配のもとで  
国民の願いがどのようにに  
反映されていくでしょうか」  
と記述しました。ノーベル平  
和賞の核兵器廃絶の宣言やオ  
バマケアという「医療保険制  
度」も、あっさりと破棄され  
てしまいました。トランプ氏  
の言説の63%が嘘、偽りであ  
ることから、「ポスト真実」  
の政治という造語が生まれま  
した。党大会での志位報告は  
「安倍首相こそ、その『先駆  
的な実践者』と糾弾します。  
宗教やマスコミなどを抱き込  
んだ「ポスト真実」の政治は、  
古今東西から国民を支配する  
手法であることは、歴史が示  
しています。マルクス・エン  
ゲルスは、真実を逆立ちさせ  
る支配者の嘘の哲学を「イデ  
オロギー」と呼んで批判しま  
した。大戦の痛苦の教訓から  
成立した国連は、戦争の違法  
化からさらに核兵器禁止条約  
締結の交渉を3月から開始、  
また、福島原発事故でベトナ  
ムや台湾も脱原発に踏み切り  
ました。大本の日本で嘘、偽  
りで固められた暴走をいつま  
でも許しておけません。市民  
と野党の共同でアベ政治に終  
止符を打ち、平和と人権を守  
る新しい政治の扉を開く年に！

# キティ台風

概説

## 江東の歴史 (64)

台風11号では、中川の堤防が決壊し、浸水は胸にまで達した。

戦後も台風は何度も江東区を襲いました。1947(昭和22)年9月13日のカスリン台風では、江東区は比較的少ない被害で、床上浸水277世帯、床下浸水1495世帯でした。

49年8月31日のキティ台風は、最大風速毎秒31m、総雨量70ミリの大型で、夜8時半ごろ通過。満潮時だったので東京湾は32年ぶりの異常な高潮になり、砂町南部の海岸堤防をはじめ55か所が決壊しました。

江東区の被害状況は、罹災総数15万4134人、死者13人、全壊家屋403戸、半壊803戸、流出49戸、床上浸水が2万3493戸、床下浸水7190戸です。浸水地域は、南部埋立地を除く全域で、深川では0.8m、亀戸、大島0.7m、砂町では2.5mの深さに達し、二砂小の8教室が倒壊しました。

このような大災害の主因は、江東区が四方を川に囲まれたデルタ地帯で、海面より1.5mも低い亀戸8、9丁目など、大部分がゼロメートル地帯だったからです。その上、近代になって大工場がふえつづけ、大量の地下水を汲みあげたことで、地盤沈下が急速にすすみ、水害の傷を大きくしてしまいました。

江戸時代に小林一茶は「萍(井外)の花より低き通りかな」とよみましたが、戦後の石田波郷も「雪敷ける町より高し小名木川」とよんでいます。

その後も、1956(昭和31)年、58年、61年の台風がくるたびにキティ台風に近い被害をもたらしました。その都度に台風対策が叫ばれ、64(昭和39)年になって外郭堤防が完成し、66年には地下水や天然ガス汲みあげ禁止の法律が制定されました。排水機構の整備や不要な掘割の埋立などの手がうたれていますが、江東区が完全に風水害から守られ、安心して生活できるところになってほしいものです。

2月11日土・祝10時	江東母親大会	(江東区文化センター)
2月12日(日)10時	東京大空襲戦災資料センター見学会	(戦争法の廃止を求める砂町の会)
2月24日金18時30分	怒りの江東区民集会	(猿江公園)

### 行事日程

# 消費税なくす会



講師は、10年以上豊洲への移転反対に取り組んできた東京中央市場労働組合の中澤誠委員長。「豊洲市場問題と食の安全」と題して、「何でも隠されて来た」移転計画や利用者本位でない施設建設の経過、「危険だから誰も手を出さなかった」豊洲用地の土壤汚染の実

況と都の調査と対策の不十分さ、地下水位が海面より高いなど管理が困難な実態を公表資料から示しました。今後の問題について中澤氏は、「1日も早く移転中止の決断をして、築地と豊洲を同時に再生」することを提唱しました。



会場には33枚のパネルが展示

まず、説明会の持ち方について、このような一方的なものではなく、以前から主張しているように、双方の教室型にして、住民の意見をつぶさに聞き、住民合意を得るようにつぶさるべきである、との意見が多く参加者から強く出されました。

また、江東区や関東各地の住宅地上空への飛行ルート変更計画に対し、騒音、振動、落下物、墜

落など環境や安全性の問題にも意見や疑問が集中しました。参加者の疑問、意見に対して、説明員は、これまでの見解を繰り返し、引き続き宣伝・署名活動を行い、国交省に対しては、今後教室型の住民説明会を要求し、多くの住民の意見を国交省に集中したい」と今後の抱負を語っていました。

# 消費税増税中止をアピール

1月4日、富岡八幡前での消費税増税中止宣伝行動には、江東消費税なくす会、東京・全国の会から18名が参加。あぜ上三和子都議会議員、吉田としお東京15区衆議院予定候補が、8%に増税後「食費を低く抑えるためセール品やまとめ買いなどしている。物価が本当に高くなった」「増税で生活も心身もますます苦しくなっている」「93・6%の人々が増税後生活が変わった」など、国民生活の実際に触れて訴えました。



新婦人江東支部が主催し、母親連絡会、区労連、戦争法ぶっ潰せ江東実行委、江東民商、東京土建江東、南砂団地9条の会が協賛して1月13日午後、市場問題の学習会を開き、約150人が参加しました。

## 食の安全と市場問題

「初めから」 新婦人、区民連、区労連

新婦人江東支部が主催し、母親連絡会、区労連、戦争法ぶっ潰せ江東実行委、江東民商、東京土建江東、南砂団地9条の会が協賛して1月13日午後、市場問題の学習会を開き、約150人が参加しました。

## 国交省の羽田問題住民説明会 不満と不安が統出

1月18日14時、総合区民センター2階展示ホールで、オープンハウス型の説明会が開かれ、「江東区上空の飛行計画撤回を求める会」をはじめ、多数の区民が参加、国交省の説明員に、口頭あるいはアンケート用紙で意見を表明しました。

参加者で会場は一杯。その後、随時入れ替わりで常時10名以上の参加者が、熱心に意見、質問を出していました。

まず、説明会の持ち方について、このような一方的なものではなく、以前から主張しているように、双方の教室型にして、住民の意見をつぶさに聞き、住民合意を得るようにつぶさるべきである、との意見が多く参加者から強く出されました。

また、江東区や関東各地の住宅地上空への飛行ルート変更計画に対し、騒音、振動、落下物、墜



区内の新成人は3718人。1月9日午前と午後の2回、成人式が行われたティアラこうとう前で「戦争法の廃止を求める砂町の会」のみなさんが「成人おめでとう、野党と市民の共闘で、憲法を守り生かす政治を」「南スーダンから自衛隊員をただちに撤退させよう」と訴え、シール投票を呼びかけました。